

## V 人文社会科学部アドミッション・オフィス入試（AO入試）

岩手大学人文社会科学部では、大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除するアドミッション・オフィス入試（AO入試）を行います。

詳細については、公表済みの「岩手大学人文社会科学部アドミッション・オフィス入試（AO入試）学生募集要項」で確認してください。

実施課程及び募集人員	人間文化課程 5名 地域政策課程 3名
出願資格	次の各号のいずれかに該当し、自身の培ったスキル、明確な志望動機や自己アピール力を有する者で、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成30年3月31日までに合格見込みの者〔同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。〕で、平成30年3月31日までに18歳に達する者 (5) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者 注) (5)の資格で出願しようとする者は、「IX その他 3 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。
選抜方法等	1 第1次選考 書類審査及び面接により行います。 2 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、集団討論、成果発表及び面接を課し、それらを総合して判定します。（課程によって内容は異なります。）
出願期間	平成29年8月1日（火）～4日（金）
選抜期日	（第1次選考）平成29年8月28日（月）～29日（火）のうち指定した日 （第2次選考）平成29年9月19日（火）
合格発表日	（第1次選考）平成29年9月4日（月） 13時 （第2次選考）平成29年10月2日（月） 13時

※他の入試への出願について

アドミッション・オフィス入試に合格しなかった場合、推薦入試及び一般入試志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般入試に出願する場合、大学入試センター試験を受験する必要があります。）

## VI 理工学部アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

岩手大学理工学部では、大学入試センター試験を課さないAO入試Ⅰ及び大学入試センター試験を課すAO入試Ⅱの2区分でアドミッション・オフィス入試 (AO入試) を実施します。

詳細については、公表済みの「岩手大学理工学部アドミッション・オフィス入試 (AO入試) 学生募集要項」で確認してください。

### 1 AO入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない)

#### (1) 地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・コース及び募集人員	システム創成工学科 電気電子通信コース 知能・メディア情報コース 機械科学コース } 5名
出願資格	高等学校 (中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。) を平成30年3月に卒業見込みの者 (平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。) 又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者
出願要件	次の①②を全て満たす者 ① それぞれの専門分野の学修および専門性を通じて地域社会を創生するためのリーダーシップの習得に必要な資質と意欲がある者で、合格した場合は、入学することを確約できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者
選抜方法等	1 第1次選考 書類審査により行います。 2 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、プレゼンテーション及び面接 (口頭試問を含む) を課し、基礎学力・論理的な思考力・情報収集能力・ものづくりに対する興味等を総合的に評価します。 なお、口頭試問の対象となる教科 (科目) は、数学 (数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B) です。数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。
出願期間	平成29年8月1日 (火) ~ 4日 (金)
選抜期日	(第1次選考) 〈書類選考〉 (第2次選考) 平成29年9月22日 (金)
合格発表日	(第1次選考) 平成29年9月4日 (月) 13時 (第2次選考) 平成29年10月2日 (月) 13時

## (2) 地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・コース 及び募集人員	システム創成工学科 社会基盤・環境コース 5名
出願資格	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者
出願要件	次の①②を全て満たす者 ① 自身の活動実績、明確な志望動機や自己アピール力を有する者で、合格した場合は入学することを確約できる者 ② 出身学校において、次のア、イいずれかの科目を履修している者 ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上 イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上。
選抜方法等	1 第1次選考 書類審査により行います。 2 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーションを課し、基礎学力、構想力、表現力、論理的な思考力、情報収集能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。 なお、口頭試問の対象となる教科（科目）は、英語、理科（物理基礎、化学基礎の2科目）、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）です。数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。
出願期間	平成29年8月1日（火）～4日（金）
選抜期日	（第1次選考）〈書類選考〉 （第2次選考）平成29年9月22日（金）
合格発表日	（第1次選考）平成29年9月4日（月） 13時 （第2次選考）平成29年10月2日（月） 13時

### ※他の入試への出願について

AO入試Ⅰに合格しなかった場合、推薦入試及び一般入試志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般入試に出願する場合、大学入試センター試験を受験する必要があります。）

## 2 AO入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す） 先端理工学特別プログラム

入学者の選抜は、本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・コース 及び募集人員	化学・生命理工学科 5名 物理・材料理工学科 5名 システム創成工学科 5名																						
出願資格	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者																						
出願要件	理工学分野の学修に深い関心と意欲を持ち、同分野において、地域や日本の将来を担う意気込みを持つ者で、合格した場合は、入学を確約できる者																						
選抜方法等	<p>1 第1次選考</p> <p>出願時に提出された書類、面接及びプレゼンテーションにより、下記について評価し選考します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端理工学特別プログラムで学ぶ意欲</li> <li>・理工学系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲</li> <li>・理工学分野に関する課題に対する関心や理解力</li> <li>・論理的思考力</li> <li>・コミュニケーション能力</li> </ul> <p>2 第2次選考</p> <p>第1次選考の合格者には、大学入試センター試験の受験（4教科6科目）を課し、第1次選考の得点（40点満点に換算）及びセンター試験の合計が概ね560点以上である者を合格者とします。</p> <p>《大学入試センター試験で受験を要する教科・科目》</p> <p>学科によって、理科の受験科目が異なります。なお、理科以外の受験教科・科目については、全学科共通です。</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学科</th> <th colspan="2">受験を要する教科・科目名</th> <th rowspan="2">受験を要する教科・科目数</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全学科</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td rowspan="3">4教科6科目</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B)の2科目</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目</td> </tr> <tr> <td>化学・生命理工学科 システム創成工学科</td> <td>理</td> <td>物理、化学、生物から2科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>物理・材料理工学科</td> <td>理</td> <td>物理と化学</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学科	受験を要する教科・科目名		受験を要する教科・科目数	教科	科目名等	全学科	国	国語	4教科6科目	数	(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B)の2科目	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目	化学・生命理工学科 システム創成工学科	理	物理、化学、生物から2科目		物理・材料理工学科	理	物理と化学	
	学科		受験を要する教科・科目名			受験を要する教科・科目数																	
		教科	科目名等																				
全学科	国	国語	4教科6科目																				
	数	(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B)の2科目																					
	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目																					
化学・生命理工学科 システム創成工学科	理	物理、化学、生物から2科目																					
物理・材料理工学科	理	物理と化学																					
出願期間	平成29年9月11日(月)～14日(木)																						
選抜期日	(第1次選考)平成29年9月30日(土) (第2次選考)(大学入試センター試験を受験)																						
合格発表日	(第1次選考)平成29年10月11日(水) 13時 (第2次選考)平成30年2月6日(火) 15時																						

※他の入試への出願について

AO入試Ⅱに合格しなかった場合に備えて、推薦入試及び一般入試志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。(一般入試に出願する場合、大学入試センター試験を受験する必要があります。)

## Ⅶ 推薦入試

### 1 推薦入試 I

大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除する推薦入試 I を行います。

なお、推薦入試 I に出願できる者は、合格した場合、入学を確約できる者としてします。

- (1) 実施する学部、学科・課程及び募集人員等（出願要件、選抜方法等は次ページ以降参照）

学部	学科・課程等		募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表日	
人文社会科学部	人間文化課程	小論文選択	20名	平成29年 11月1日(水) ～ 11月7日(火)	平成29年 11月21日(火)	平成29年 12月1日(金)	
		スポーツ選択	7名				
		美術選択	9名				
		書道選択	4名				
	地域政策課程	15名					
教育学部	学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース	25名				
		中学校教育 コース	英語サブコース				3名
			美術サブコース				1名
		理数教育 コース	数学サブコース				5名
			理科サブコース				5名
特別支援教育コース	3名						
理工学部	化学・生命 理工学科	化学コース	10名				
		生命コース	3名				
	物理・材料 理工学科	数理・物理コース	4名				
		マテリアルコース	7名				
	システム 創成工学科	電気電子通信コース	10名				
		知能・メディア情報コース	8名				
		機械科学コース	17名				
		社会基盤・環境コース	12名				
農学部	植物生命科学科		5名				
	応用生物化学科		5名				
	森林科学科		5名				
	食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	6名				
		食産業システム学コース	6名				
		水産システム学コース	6名				
動物科学科		5名					

- (2) 一般入試への出願

推薦入試 I に合格しなかった場合、一般入試志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（大学入試センター試験を受験する必要があります。）

- (3) その他

推薦入試 I の詳細については、9月上旬に「岩手大学推薦入試学生募集要項」で公表する予定です。

## 人文社会科学部

課程等	出願要件	選抜方法等
人間文化課程	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.3以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者で、次の三つ条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> <li>② 競技者として、スポーツの技能に秀でた者</li> <li>③ スポーツの理論と指導に関する勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</li> </ol> <p>なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書、運動歴調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、①の条件（必須）を満たしたうえで、②又は③に該当し、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> <li>② 出身学校で美術・工芸・デザイン・書道等の科目を履修している者で、その成績が特に優れている者</li> <li>③ 美術または書道の表現に秀でた者</li> </ol> <p>なお、推薦できる人数は、美術選択、書道選択それぞれ1校2名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、実技検査、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p> <p>受験時には、資料ファイル（これまでに制作した作品や芸術活動についてまとめた資料・様式任意）を持参してください。面接の際に、資料ファイルについての説明を求めます。</p> <p>なお、資料ファイルには、出身学校長の証明書を添付してください。</p> <p>実技検査の詳細については、次ページで確認してください。</p>

【注1】 スポーツ選択で合格した者は、主専修プログラムとしてスポーツ科学専修プログラムを履修することになります。

【注2】 美術選択・書道選択で合格した者は、主専修プログラムとして芸術文化専修プログラムを履修することになります。

※ 推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。

課程等	出願要件	選抜方法等
地域政策課程	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.3以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

※ 推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。

### 実技検査

人間文化課程の美術選択及び書道選択の実技検査の内容は下記のとおりです。  
受験時に以下の用具を持参してください。

区分	検査内容	持参する用具
美術選択	<p>デッサン</p> <p>(1) 木炭                      (2) 鉛筆</p> <p>※ 出願時に、(1)又は(2)のいずれかを選択してください。</p>	<p>木炭用具一式又は鉛筆用具一式</p> <p>※ 木炭紙又は画用紙及びカルトンは大学で用意します。</p>
書道選択	<p>臨書</p> <p>(1) 漢字（楷書，行書）</p> <p>(2) 仮名（原寸）</p>	<p>書道用具一式</p> <p>毛筆（太字用・細字用），墨（固形又は液体），硯，文鎮</p> <p>※ 下敷，解答用紙，吸い取り紙は大学で用意します。字典，教科書，参考資料，消しゴム，持参用紙は，試験場では使用できません。</p>

## 教育学部

課程・コース	出願要件	選抜方法等
小学校教育 コース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
中学校教育 コース 英語サブコース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接（英語による口頭試問を含む）、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
中学校教育 コース 美術サブコース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、実技検査、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p> <p>受験時には、資料ファイル（これまでに制作した作品や芸術活動についてまとめた資料・様式任意）を持参してください。面接の際に、資料ファイルについての説明を求めます。</p> <p>なお、資料ファイルには、出身学校長の証明書を添付してください。</p> <p>実技検査の詳細については、次ページで確認してください。</p>
理数教育 コース 数学サブコース 理科サブコース 【注】	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> <li>② 入学後は小学校教育専修に所属することを確約できる者</li> </ol> <p>なお、推薦できる人数は、それぞれのサブコースで1校1名とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>



課程・コース		出願要件	選抜方法等
学校教育 教員養成課程	特別支援 教育コース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

【注】 数学サブコース及び理科サブコースの入学者は、「小学校教育専修」に所属することになります。

※ 推薦人数については、分校、定時制、通信制は、本校とは別に1校として取り扱います。

### 実技検査

中学校教育コース美術サブコースの実技検査の内容は次のとおりです。

受験時に以下の用具を持参してください。

コース	検査内容	持参する用具
中学校教育コース 美術サブコース	<p>石膏デッサン</p> <p>(1) 木炭                      (2) 鉛筆</p> <p>※ 出願時に、(1)又は(2)のいずれかを選択してください。</p>	<p>木炭用具一式又は鉛筆用具一式</p> <p>※ 木炭紙又は画用紙及びカルトンは大学で用意します。</p>

理工学部

	出願要件	選抜方法等
全学科・コース 共通事項	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者	大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、面接（口頭試問を含みます。）、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。

学科・コース	出願要件	選抜方法等	
化学・生命理工学科	化学コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 化学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（化学基礎）と外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
	生命コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 生命科学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）と外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
物理・材料理工学科	数理・物理コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数理科学・物理学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
	マテリアルコース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 物質科学・材料工学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>

学科・コース	出願要件	選抜方法等
電気電子通信コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 電気電子通信工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科(科目)は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
知能・メディア情報コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 知能・メディア情報工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科(科目)は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
機械科学コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 機械科学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、理数化学」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科(科目)は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)、理科(物理基礎)と外国語(英語)です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
社会基盤・環境コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 社会基盤・環境工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者 ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上 イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上 なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科(科目)は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)、理科(「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択)と外国語(英語)です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>

システム創成工学科

- ※ 定時制を有する高等学校については、定時制枠として別枠で、1名の推薦を認めます。
- ※ 先端理工学特別プログラムでは、入学後、履修生を追加募集することがあります。詳細については、<http://www.se.iwate-u.ac.jp/> をご確認ください。
- ※ 大学入試センター試験は課しませんが、合格後の学習継続と本学入学後の学修に支障をきたさないために、大学入試センター試験を受験することを強く推奨します。

## 農学部

学科	出願要件	選抜方法等
植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 〔農村地域デザイン学コース〕 〔食産業システム学コース〕 食料生産環境学科 〔水産システム学コース〕 動物科学科	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</li> </ul> <p>なお、推薦できる人数は、食料生産環境学科を除くそれぞれの学科で1校2名以内とします。食料生産環境学科は「農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース」で1校2名以内、「水産システム学コース」で1校2名以内とします。</p>	<p>大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

## 2 推薦入試Ⅱ

本学において実施する個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱを行います。

なお、推薦入試Ⅱに出願できる者は、合格した場合、入学を確約できる者とします。

### (1) 実施する学部、学科及び募集人員等

実施学部・学科名	<b>農学部</b> 共同獣医学科	
募集人員	3名	
出願要件	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 調査書の学習成績の全体の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>② 出身学校において、物理（「物理基礎、物理、理数物理」から1科目）、化学（「化学基礎、化学、理数化学」から1科目）及び生物（「生物基礎、生物、理数生物」から1科目）の科目のうち2科目以上を履修している者</p> <p>③ <u>産業動物又は公衆衛生分野</u>の獣医学に積極的に貢献する意欲のある者</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	
選抜方法等	<p>本学において実施する個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p> <p>なお面接は、個人面接に加え、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する課題個人面接を行います。</p>	
	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 （数Ⅰ・数A）と（数Ⅱ・数B、簿、情報から1） 物理、化学、生物から2 英（リスニングテストを含む）、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]
出願期間	平成29年12月18日（月）～20日（水）	
選抜期日	平成30年1月26日（金）	
合格発表日	平成30年2月6日（火）	

備考

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ・ 『「地理歴史」, 「公民」』 から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。
- ・ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

### (2) 一般入試への出願

推薦入試Ⅱに合格しなかった場合に備えて、一般入試志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。

### (3) その他

推薦入試Ⅱの詳細については、9月上旬に「岩手大学推薦入試学生募集要項」で公表する予定です。

### 3 被災者特別選抜

東日本大震災により被害を受け、将来、被災地域の復興に熱意を有する高校生を対象に被災者特別選抜を行います。

なお、被災者特別選抜に出願できる者は、合格した場合、入学を確約できる者とします。

東日本大震災により被害を受けた高校生とは、次のいずれかに該当する被害を受けた者であり、出身高等学校長による被災者認定が必要です。

- ① 本人または学資を主として負担している者の住居が全半壊、全半焼、流失した者
- ② 学資を主として負担している者が死亡または行方不明になっている者
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難勧告を受け、避難している者
- ④ 学資を主として負担している者の収入が著しく減少した者
- ⑤ その他、上記の被害と同程度以上の被害を受けた者

- (1) 実施する学部、学科・課程及び募集人員等（出願要件、選抜方法等は次ページ以降参照）

学部	学科・課程等		募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表日
理工学部	化学・生命 理工学科	化学コース	若干名	平成29年 11月1日(水) ～ 11月7日(火)	平成29年 11月21日(火)	平成29年 12月1日(金)
		生命コース	若干名			
	物理・材料 理工学科	数理・物理コース	若干名			
		マテリアルコース	若干名			
	システム 創成工学科	電気電子通信コース	若干名			
		知能・メディア情報コース	若干名			
		機械科学コース	若干名			
	社会基盤・環境コース	若干名				

- (2) 一般入試への出願

被災者特別選抜に合格しなかった場合、一般入試志願者と同様の手続きにより本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（大学入試センター試験を受験する必要があります。）

- (3) その他

被災者特別選抜の詳細については、9月上旬に「岩手大学推薦入試学生募集要項」で公表する予定です。

理工学部

	出願要件	選抜方法等
全学科・コース 共通事項	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を平成30年3月に卒業見込みの者（平成29年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月に修了見込みの者	大学入試センター試験及び本学において実施する個別学力検査を免除し、面接（口頭試問を含みます。）、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。

学科・コース	出願要件	選抜方法等	
化学・生命理工学科	化学コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 化学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校5名以内（推薦入試Ⅰを含む）とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（化学基礎）と外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
	生命コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 生命科学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校4名以内（推薦入試Ⅰを含む）とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）と外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
物理・材料理工学科	数理・物理コース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数理科学・物理学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校5名以内（推薦入試Ⅰを含む）とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>
	マテリアルコース	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 物質科学・材料工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校5名以内（推薦入試Ⅰを含む）とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。</p>

学科・コース	出願要件	選抜方法等	
システム創成工学科	電気電子通信コース	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 電気電子通信工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校4名以内（推薦入試Iを含む）とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。
	知能・メディア情報コース	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 知能・メディア情報工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校4名以内（推薦入試Iを含む）とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。
	機械科学コース	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 機械科学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、理数化学」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校4名以内（推薦入試Iを含む）とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（物理基礎）と外国語（英語）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。
	社会基盤・環境コース	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 社会基盤・環境工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者 ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上 イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上 なお、推薦できる人数は、1校5名以内（推薦入試Iを含む）とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）と外国語（英語）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は全範囲とします。数学Bの出題範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

- ※ 定時制を有する高等学校については、定時制枠として別枠で、1名の推薦を認めます。
- ※ 被災者特別選抜の出願者は、推薦入試Ⅰ及び被災者特別選抜の両試験の受験者として取り扱います。
- ※ 先端理工学特別プログラムでは、入学後、履修生を追加募集することがあります。詳細については、<http://www.se.iwate-u.ac.jp/> をご確認ください。
- ※ 大学入試センター試験は課しませんが、合格後の学習継続と本学入学後の学修に支障をきたさないために、大学入試センター試験を受験することを強く推奨します。



## VIII 私費外国人留学生入試

大学入試センター試験を免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文，面接），日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生入試（前期日程）を行います。

なお、理工学部のみ大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生入試（渡日前入学許可）も行います。

### 1 出願資格

下記の表に該当する者のうち、次の(1)，(2)，(3)の全てに該当する者

学部 出願区分	人文社会科学部	教育学部	理工学部	農学部
前期日程	日本国内在住者 及び 日本国外在住者	日本国内在住者 及び 日本国外在住者	日本国内在住者	日本国内在住者 及び 日本国外在住者
渡日前入学許可	—	—	日本国外在住者	—

- (1) 日本国籍を有しないで、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- (2) 次のアからキのいずれかに該当する者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
  - イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - カ 国際的な評価団体（W A S C , E C I S , A C S I）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び修了見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - キ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 志願する学部の指定する日本留学試験を受験した者
 

ただし、教育学部、理工学部及び農学部共同獣医学科を志願する者は、次の要件も満たしていること。

  - ア 教育学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解）の合計が280点以上、かつ、日本語記述の得点が35点以上であること。
  - イ 理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解）の合計が、渡日前入学許可では280点以上、前期日程では260点以上であること。
  - ウ 農学部共同獣医学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解），数学及び理科の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上），かつ、日本語記述の得点が35点以上であること。

注1) (2)のキの資格で出願しようとする者は、「IX その他 3 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。

注2) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者及び日本の永住許可を得ている者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。

## 2 選抜方法等

項目		学 部		理工学部		農学部	
		人文社会科学部	教育学部	渡日前入学許可	前期日程	前期日程	前期日程
試験区分		前期日程	前期日程	渡日前入学許可	前期日程	前期日程	前期日程
募集人員		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
本学で実施する個別学力検査等		小論文 面接	面接（注1）	課さない （注2）	面接	面接	面接
日本留学試験 （注4）	利用科目	文系（日本語・総合科目・数学） 又は理系（日本語・理科・数学）	文系（日本語・総合科目・数学） 又は理系（日本語・理科・数学）	理系（日本語・理科・数学）	理系（日本語・理科・数学）	理系（日本語・理科・数学）	理系（日本語・理科・数学）
	数学のコース1, コース2の別（注3）	どちらでもよい	どちらでもよい	コース2	どちらでもよい	どちらでもよい	どちらでもよい
	理科の選択する2科目	3科目から任意の2科目選択	3科目から任意の2科目選択	3科目から任意の2科目選択	3科目から任意の2科目選択	3科目から任意の2科目選択	3科目から任意の2科目選択
	日本留学試験の出題言語	日本語, 英語のどちらでもよい	日本語	日本語	日本語	日本語, 英語のどちらでもよい	日本語, 英語のどちらでもよい
	日本留学試験の利用	平成29年6月又は11月のどちらでもよい	平成29年6月又は11月のどちらでもよい	平成29年6月又は11月のどちらでもよい	平成29年6月又は11月のどちらでもよい	平成29年6月又は11月のどちらでもよい	平成29年6月又は11月のどちらでもよい
選抜方法等		大学入試センター試験を免除し、以下の選抜方法で判定します。 (1) 前期日程 本学が実施する個別学力検査等（小論文, 面接）, 日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。 (2) 国外出願（渡日前入学許可）※理工学部のみ実施 本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。					
出願期間		前期日程 国外出願（渡日前入学許可）	平成30年1月22日（月）～1月31日（水）まで 平成30年1月4日（木）～9日（火）まで				
選抜期日		前期日程 国外出願（渡日前入学許可）	平成30年2月25日（日）（教育学部は平成30年2月26日（月）） 書類審査				
合格発表日		前期日程 国外出願（渡日前入学許可）	平成30年3月6日（火） 平成30年2月6日（火）				

- 注1) 教育学部の学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽サブコース及び美術サブコースの志願者については、面接時にそれぞれのサブコースの履修に必要な実技の能力についても検査します。  
美術サブコースの志願者は、作品（1年以内に制作した主な作品2点）、又は資料ファイル（これまでに制作した作品についての資料・様式任意）を試験当日持参してください。面接時に作品についての説明を求めます。
- 注2) 理工学部では日本国外在住の志願者に対して、本学が実施する個別学力検査等を免除し日本留学試験及び出願書類により選抜を行う渡日前入学許可を実施します。
- 注3) コース1は、数学を必要とする程度が比較的少ない学部用  
コース2は、数学を高度に必要とする学部用
- 注4) 日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構（〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 ☎03-6407-7457 FAX03-6407-7462）に照会してください。

## 3 その他

私費外国人留学生入試の詳細については、11月上旬に「岩手大学私費外国人留学生入試学生募集要項」で公表する予定です。